

高分子学会からのお知らせ

＜募集＞ 高分子論文集

特集号＝分子組織化学－國武豊喜先生文化勲章受賞記念－

高分子論文集では、分子組織化学につながる研究を概観し、更なる科学・技術の発展への道標とすべく、特集号を企画いたしました。分子組織化学の源流となった合成二分子膜に関する研究、自己組織化に関する研究、超分子化学に関する研究、さらにはそれらの発想の源でもあるバイオミメティクスに関わる研究など、幅広いご投稿を募集いたします。

＜対象＞ 分子の自己組織化、超分子化学、バイオミメティクスに関わる研究、バイオインスパイアードマテリアル、分子組織化と分子間力に関する研究など、基礎から応用に至る分子組織化学に関連する研究を幅広く対象といたします。

＜発行予定＞ 2016年1月25日 / 3月25日 [Vol. 73, No. 1, No. 2 (2016)]

＜詳細＞ 高分子論文集4月号、高分子5月号に掲載

＜問合せ先＞ 高分子論文集編集委員会 E-mail : online-koron@spsj.or.jp

＜予告＞ 高分子

特集号＝自己組織化の進展：現象論からテクノロジーへ 2015年10月号

大きな分子集合体や異質物質の混合体、液体の流れ、ネットワーク、再帰的プログラムなどには、秩序だった構造やダイナミクスが自発的に発現することがある。我々には、それはあたかも構成単位が自ら働いて秩序をつくりだしているように見える。これらの多種多様な分野に見られる自己組織化現象は、古くから学術的に研究されてきたが、現象論の域を出ない場合がほとんどであった。ところが、15年前にナノテクブームが起り、原子や分子団を操ることができるツールとして脚光を浴びることになった。ここでは、現象論からテクノロジーとして成長してきた自己組織化を振り返る。

最近の記事（國武豊喜先生）

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 「是非、若手に読んでもらいたい本」 | 高分子 62 卷 11 月号 (2013) |
| 「研究室を立ち上げた若手研究者へ」 | 高分子 62 卷 1 月号 (2013) |
| 「Biomimetic Chemistry の歴史から学ぶ」 | 高分子 60 卷 5 月号 (2011) |

会員は、e! 高分子でバックナンバーを閲覧できます。

<http://main.spsj.or.jp/c5/kobunshi/kobunshi.php>